



<イベント案内>

■在日歴史スタディカフェ 第2回「在日コリアンの国籍・名前」

○日程：2018年4月14日（土） 14:00～16:30

○場所：コリアンブックカフェ「책자리 (ちえっちやり)」(KEY大阪事務所)

○参加費：無料

昨年KEYが出した本「在日コリアンの歴史を歩く-未来世代のためのガイドブック-」と一緒に読んで語り合うカフェイベントを行います。第2章「個人史-未来世代の君へ-在日一世・二世が語る人生哲学」に焦点を当てつつ、地域史や時代背景、キーワードを学びます。3回シリーズで行う第2回目は在日コリアンの国籍・名前をテーマに朴実（パク・シル）さんと朴正恵（パク・チョンヘ）さんの個人史を取り上げます。10代～30代の青年であればどなたでも参加できます。ぜひご参加ください！

■第2回あなたの名前は何か？～名前で広がるダイバーシティ～

○日程：2018年4月8日（日）15:00～18:00

○場所：JUSO Coworking（大阪市淀川区十三東1-17-13水交ビル1階）

○参加費：無料

さまざまな文化・ルーツを持つ人が生きるこの社会で、ちがいを認め合う“ダイバーシティ（多様性）”を考えるシリーズ企画。

前回は「食」をテーマに、粉もんを食べながらお互いの食文化などを語り合いました。

第二回のテーマは「名前」です。名前は生活のあらゆる場面で聞かれたり、書いたりして、まちがいでなくじぶんを表すもの。一方で、名付け親の思いが込められていたり、地域や家系のつながりを表していることもあります。また、歴史や制度の影響も見逃せません。名前の多様性は溢れているのに、それについて話す機会は意外と少ない。というわけで今回は、アジアなお茶やお菓子を楽しみながら、一人ひとりの名前にまつわるエピソードを語り合いませんか？名前で広がるダイバーシティな空間を一緒につくりましょう！

■済州4・3事件70周年犠牲者慰霊祭

○日程：2018年4月22日（日）15:00～18:00頃

○場所：東成区民センター大ホール（地下鉄・今里駅3分）

○参加費：1000円（学生500円）

4・3事件を体験された作曲家の韓在淑（ハン・ジェスク）さん、ベルリン在住の韓伽椰（ハンガヤ）さんらに在日の声楽家、猪飼野のパンソリ歌手安聖民（アン・ソンミン）さんらによる慰霊コンサートです。

<活動報告>

● 3・1文化祭 in 福岡 (3/24-25)



今年も恒例になった3.1文化祭のためにいざ！福岡まで車に乗って約9時間かけて行ってきました。

今回は一泊しかできないということで、夜は屋台を期待していましたが、あいにく満席のため昨年も訪れたという二種類のラーメン居酒屋へ。

居酒屋ではKEYメンバー+αメンバーで飲んで、食べて、喋って、マジック？笑もして盛り上がりました。

いよいよ二日目の本番当日、お客さんの入りようは良かったようで、韓国水原から来られたメンバーの舞踊から始まり、大分からのサムルメンバーや、太鼓団、吹奏楽隊などなど、みんな楽しく演奏していました。昨年惜しくも体調不良で参加できなかったサムルノリ、ブンムルも体調抜群で臨めて、大いに楽しみ演奏しました。初発表のカヤグムはグタグタながらも、みんなが歌を歌って盛り上げていただきました。

民族衣装チマチョゴリショーもKEYメンバーも参加し、写真もたくさん撮りまくりました。

最後のフィナーレには参加者観客全員でカンガンスーレを大合唱しながらぐるぐる体育館を踊り回りました!!本当に有意義で盛り上がった文化祭でした。今回もLGBTのブースや、韓国お菓子コーナー、韓国遊び道具など、幅広い文化を取り入れていました。

打ち上げの時には、恒例の歌をもつ鍋食べながら歌い、感想も回し、慌ただしく帰りの帰路に着きましたが、文化祭、いろんな地域でこのような3.1文化祭が開けたらいいなとみんなが思うそういうサークル旅でした。必ず来年も大きな目標達成のために参加します!!

●ダイバーシティパレード (4/1)



2016年11月に開催された「ミナミダイバーシティフェスティバル」

に続くイベント、国籍・民族、性別、障害など

多様性を祝うメッセージを様々な表現方法で表しながら、中之島から難波まで総勢1000名ほどで練り歩きました。



パレード隊は「We Are Here」、「労働梯団」「EXCITED WOMEN'S」フロートの3つにわかれていた中、

韓国文化サークルメンバーも構成員として加わる在日コリアン青年ユニット「ハンマウム」が加わったフロート「We Are Here」にKEYメンバーの多くは一緒に入って楽しみました。

長丁場のパレードになり、特に「ハンマウム」メンバーはくたくたになったと思います。しかし、終始みんな笑顔で歩いている姿を見て、「自分らしく生きよう！」と思える、明日からの生きる活力を得るイベントになったのではないかと考えています。みんなお疲れ様！そして、ありがとう！

●南北コリアと日本のともだち展大阪展(3/22-25)



朝鮮民主主義人民共和国、大韓民国、日本、そして延辺（ヨンピョン＝中華人民共和国内の朝鮮族の自治州）の

こどもたちが、絵画を通じて交流する、南北コリアと日本のともだち展。2001年に東京で始まり18年目の歴史を持ちます。大阪展は7回目。今年も大阪国際交流センターで開かれました。

今年のテーマは「私の楽しい時間」。各国に住む子どもたちの文化的背景、その中での個性が表れていて興味深いです。今年は私の良く知る大阪のこどもたちも参加し、元気な絵を寄せていました！この取り組みの中で最も意味があると感じるのは、こどもたちが気に入った絵にメッセージを添えて送ると、書いた主から返事が戻り、まさに絵画を通じて、国を超えて友達になれることです。南北和解が期待される情勢、こうした地道な民間交流の取り組みがますます注目されるべきだと思います。